

2005年度奨励賞の受賞者決まる

受賞者：関西気象予報士会「楽しいお天気講座」担当グループ（代表：諫山安彦・寺野健治）

業績題目：出前授業「楽しいお天気講座」を通じた気象学の普及活動

選定理由：関西気象予報士会「楽しいお天気講座」グループは、63名の気象予報士で構成され、出前授業を通して、気象学の普及に取り組んでいる。この出前講座は、「天気予報のやり方」、「天気予報の検討会」、「天気予報の発表」、「まとめ」で構成される。それぞれの内容に関して、グループ内で資料を共有し、ノウハウを蓄積し、質の高い学習機会の提供に努めてきた。これまで実施回数は延べ数で、2002年度14校、2003年度11校、2004年度23校であり、その数は増加傾向にある。また、2004年度は桃山学院大学や大阪府立大学のオープンカレッジで、知的障害者向けの「楽しいお天気講座」を実施し、その対象を広げることに努力している。

この活動の成果は2003年度春季大会において「ボランティア活動：小中学校向け出前授業『楽しいお天気講座』への取り組み」として発表され、気象学普及のノウハウをグループ内に蓄積するだけでなく、広く気象学会員と共有し、更なる気象学の普及を目指している。同グループの活動は理科離れが進む学校教育現場に、身近な天気を題材として理科の楽しさを体験してもらおう試みとして意味がある。また、将来に亘って活動を継続していく組織作りもできており、これからの貢献も期待できる。気象予報士という専門家集団が社会貢献する一形態を他に先駆けて確立したことは大きく、その精力的な教育普及活動を高く評価する。

以上の理由から、日本気象学会は、関西気象予報士会「楽しいお天気講座」担当グループ（代表：諫山安彦・寺野健治）に今年度の奨励賞を贈るものである。

受賞者：辻川才太（名古屋地方気象台）

研究題目：東海地方の降水の地域特性に関する研究

選定理由：辻川才太氏は1977年に高山測候所に採用された後、東海地方の各気象官署に勤務する傍ら、地域に密着した局地的な現象の調査・研究を継続的に

進めてきた。中でも三重・愛知・静岡県内の降水分布については、アメダスのほか部外資料や解析雨量を利用し、主成分分析やクラスター分析に基づく統計的な解析を行い、各県内の降水分布の地域特性を明らかにするとともに、地形やそれに伴う局地前線との対応関係を指摘した。これらの研究結果は静岡県や愛知県における予報の二次細分区域を設定するための基礎資料の一部になった。また、局地的豪雨の事例解析も手がけ、2004年7月10日に愛知県一宮市付近で発生した短時間強雨については、アメダス、ウィンドプロファイラー及び気象衛星の資料を用いた解析によって、南海上からの下層の暖湿気塊の侵入、寒気を伴った上層の正温過渡域の北上及び上・中層の乾燥域の侵入等が相互に関連したことを示した。これらの研究は観測事実の堅実な評価に基づいて現象の実態を理解しようとするものであり、得られた成果は気象学と気象業務の発展に寄与するものであると考えられる。

以上の理由から、日本気象学会は、辻川才太氏に今年度の奨励賞を贈るものである。

参考文献

- 早川宏明, 辻川才太, 2001: アメダス10分値を用いた防災情報の高度化(その3) - 任意時間雨量を活用した警報の運用 -, 東京管区調査研究会誌, (34), CD-ROM.
- 辻川才太, 1992: 降水パターンの分類と地形因子について, 研究時報, 43, 別冊, 98-99.
- 辻川才太, 1999: 愛知県の細分区域変更による降雨特性, 研究時報, 50, 別冊, 110-111.
- 辻川才太, 2001: アメダス10分値を用いた防災情報の高度化(その2) - 10分値雨量を活用した中小規模擾乱の特徴 -, 東京管区調査研究会誌, (34), CD-ROM.
- 辻川才太, 2001: 静岡県の細分区域の検討(その4) - 解析雨量による降水分布パターンについて -, 東京管区調査研究会誌, (34), CD-ROM.
- 辻川才太, 大沢雅亮, 2003: 静岡県における強雨域分布検索アプリケーションの試作, 東京管区調査研究会誌, (36), CD-ROM.
- 辻川才太, 川崎彦彦, 中村健二, 木下信好, 棚瀬由勝, 窪田邦晃, 山本浩之, 2004: 2004年7月10日に愛知県一宮市で発生した短時間強雨について, 日本気象学会中部支部研究会講演要旨集, 1-6.